

# 令和4年度 自己評価書

|      |            |
|------|------------|
| 学校名  | 和歌山市立貴志中学校 |
| 校長氏名 | 中村 清司      |
| 作成日  | 令和5年2月21日  |

## 1 教育目標

豊かな心情と思いやりの心を持ち、自ら考え、ねばり強く実践する生徒を育てる。

## 2 本年度の取組についての評価

|          | 確かな学力の向上   | 豊かな心の育成  | 健やかな体の育成  | 地域とともにある学校  |
|----------|--|--|---|---|
| 指標       | <ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いた学習環境づくり</li> <li>生徒一人一人を大切に授業づくり</li> <li>全国学調生徒質問紙において「わかる授業」を8割以上にする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの早期発見を徹底的に行う。</li> <li>全国学調生徒質問紙において「いじめは、どんな理由があってもいけない事だと思う」の100%回答を目指す。</li> <li>生徒会活動の活性化を図り自主自立の心を育む。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍における学校生活において、常に自らの健康と他者の安全を守る意識を育む。</li> <li>全国学調生徒質問紙において「朝食を毎日食べる」を9割5分以上にする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>全国学調生徒質問紙において「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」において県・国の調査結果に近づける。</li> </ul>  |
| 重点目標     | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導及びより良い学習環境づくり</li> <li>基礎基本の確実な定着</li> <li>主体的対話的で深い学びに向けた授業改善</li> <li>家庭学習の定着</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別な授業「道徳」の充実</li> <li>人権教育の推進</li> <li>いじめのない集団づくり</li> <li>規範意識の向上</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣の確立</li> <li>体力の向上</li> <li>情報モラルの充実</li> <li>危機回避能力の育成</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「貴志の教育を高める会」活動の充実</li> <li>家庭、地域と連携充実</li> <li>学校運営協議会と連携充実</li> <li>共育コミュニティと連携充実</li> </ul>  |
| 取組の状況    | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習形態の工夫</li> <li>授業改善の推進</li> <li>学生ボランティアの充実</li> <li>朝学の徹底</li> <li>家庭学習の推進</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめアンケートを3回行い、その後の教育相談で未然防止、早期発見、早期対応に取り組むことができた。</li> <li>いじめなくそウデーの放送を毎月第1水曜日の朝学活で実施した。</li> <li>人権特設授業を学期毎に取組み、継続指導を心がけた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「早寝、早起き、朝ごはん」の推奨をして、生徒への基本的な生活習慣を促した。</li> <li>体育行事の充実を図ると共に計画的に体力向上を目指す。</li> <li>適宜に情報モラル教室を行い危機回避能力を育成する。</li> <li>県警によるキッズサポートにより規範意識をさらに高めた。</li> <li>コロナ感染防止対策に努めた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校便り、保健便り、貴志中の輝き、学年便り、学級通信等による保護者や地域への情報発信。</li> <li>「貴志の里展」を通して、地域との絆を更に深める。</li> <li>学校運営協議会を通じて地域と連携を密にする。</li> </ul>                         |
| 取組の成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業(3名の教員)を実施し、現職教育等で意見交換。</li> <li>コロナ禍であったが、ICTへの取り組みも進みつつある。</li> <li>学びあい授業づくりの改善は学校全体の統一性にやや欠けた。</li> <li>指標のアンケート結果⇒国語:85.0%・数学:80.8%</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラル教室では、関係機関との協力を得ながら取り組めた。</li> <li>朝の挨拶運動は活性化しつつあり、更に充実させたい。</li> <li>教育相談を年3回実施することでいじめの未然防止ができた。</li> <li>月に1度の教育相談部会を開きSC,SSWの意見も参考にした。</li> <li>指標のアンケート結果⇒99.0%</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、防災訓練を2回しかできなかった。生徒の防災意識を高めるために訓練を増やしたい。</li> <li>職員が授業中の巡回等を繰り返したことで、生徒の規範意識がさらに高まった。</li> <li>朝食を毎日食べる生徒確率の指標に、あと少し及ばなかった。</li> <li>指標のアンケート結果⇒92.0%</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ぐるりんメール」で保護者宛の配布物をその都度活用した。</li> <li>小学校、子ども会との交流及び連携をスムーズに図ることができた。そして、生徒理解を一層深めることができた。</li> <li>指標のアンケート結果⇒34.8%(県:36.8% 国:40.7%)</li> </ul> |
| 改善方法     | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習意欲を高める授業のため、現職教育等を通じて、全教職員の方向性を一つにする。</li> <li>家庭学習のうまく取り組める方法や手段を考えていきたい。</li> <li>別室(ステップルーム)登校生徒への更なる配慮を行い、不登校生徒をなくしていきたい。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>人権・同和教育推進のため、内容や方法を工夫して改善を図りながら進めていきたい。</li> <li>職場体験学習に代わり、キャリア教育「未来スクール」(出前授業)をさらに進めていきたい。</li> <li>生徒会主催の「挨拶運動」を更に活性化させ豊かな心の育成に繋げる。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「早寝、早起き、朝ご飯」の推奨を行うとともに、上記指標の95%を目標に取り組んでいきたい。</li> <li>SNS上のトラブルがまだまだある。啓発を行いながら、事前の防止と早期発見に努め、自らの危機回避能力を高める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ぐるりんメール」を活用する。</li> <li>生徒の地域活動への参加を更に拡大できるように積極的に進めていきたい。</li> <li>共育コミュニティの活動を更に周知し活用できるよう取り組む。</li> </ul>                                    |

## 3 その他の課題

- 学力の向上をさらに進め、教職員の創意工夫による授業力アップとGIGAスクール構想教育向上に取り組む。
- 生徒の読書離れを阻止するため、図書ホールの活用を進めていきたい。
- いじめのない学校、いじめのないクラス作りを進める。また、不登校生徒の減少に向けて取り組む。
- ステップルームを活用し不登校生徒への対応を更に充実させる。
- 生徒指導上、問題を繰り返す生徒への指導の在り方及び保護者、関係機関等との連携を強化する。